

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「先進国株式インデックス・ファンド」は、
このたび、第29期の決算を行いました。

当ファンドは日本を含む世界各国の株式（預託証書
およびカントリーファンドを含みます。）を実質的な
主要投資対象とし、MSCIワールド・インデックス
（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指し
て運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告
申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げ
ます。



先進国株式 インデックス・ファンド

追加型投信／内外／株式／インデックス型



第29期末（2015年6月18日）	
基準価額	13,106円
純資産総額	311百万円
第28期～第29期	
騰落率	10.3%
分配金（税込み）合計	60円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算
したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記＜お問い合わせ先＞のホームページにアクセスし、「ファンド一覧」等から運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

交付運用報告書

第28期（決算日 2015年3月18日）

第29期（決算日 2015年6月18日）

作成対象期間（2014年12月19日～2015年6月18日）

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

＜お問い合わせ先＞

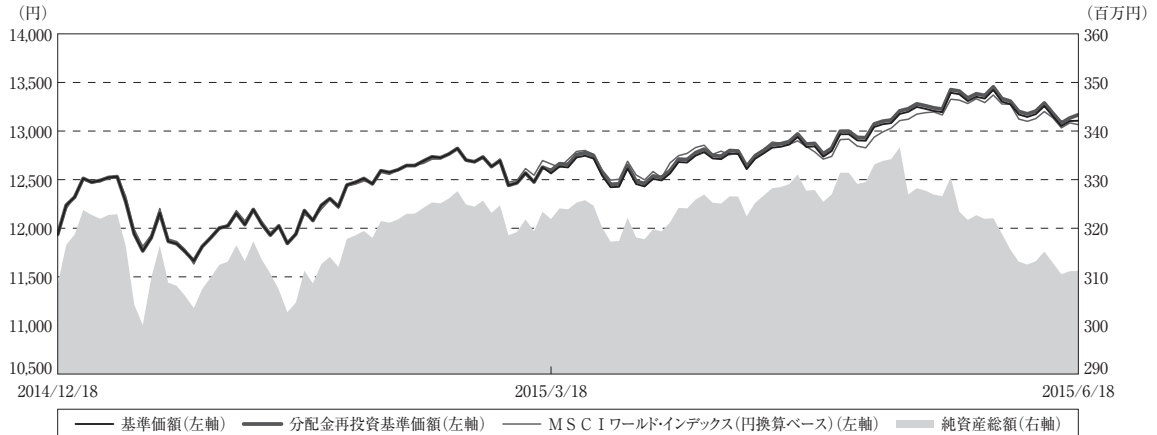
お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100
（受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時）

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2014年12月19日～2015年6月18日)



第28期首：11,937円

第29期末：13,106円（既払分配金（税込み）：60円）

騰落率：10.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）は、作成期首（2014年12月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ベンチマークはMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）です。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界の先進国の株式を実質的な主要投資対象としているため、デンマーク、アイルランド、オーストリアなどの株式市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。上昇率上位3セクターは、一般消費財・サービス、ヘルスケア、素材となりました。
- ・外貨建資産の対円での為替ヘッジを行わなかったため、実質組入外貨建資産の通貨である米ドル、英ポンド、スイスフランなどが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・外貨建資産の対円での為替ヘッジを行わなかったため、実質組入外貨建資産の通貨であるユーロなどが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2014年12月19日～2015年6月18日)

項 目	第28期～第29期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 55 (24) (25) (6)	% 0.431 (0.194) (0.193) (0.043)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	4 (4) (0) (0)	0.036 (0.033) (0.001) (0.001)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	1 (1) (0)	0.005 (0.004) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	22 (15) (1) (6) (0)	0.173 (0.119) (0.010) (0.043) (0.000)	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等 その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	82	0.645	
作成期間の平均基準価額は、12,684円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

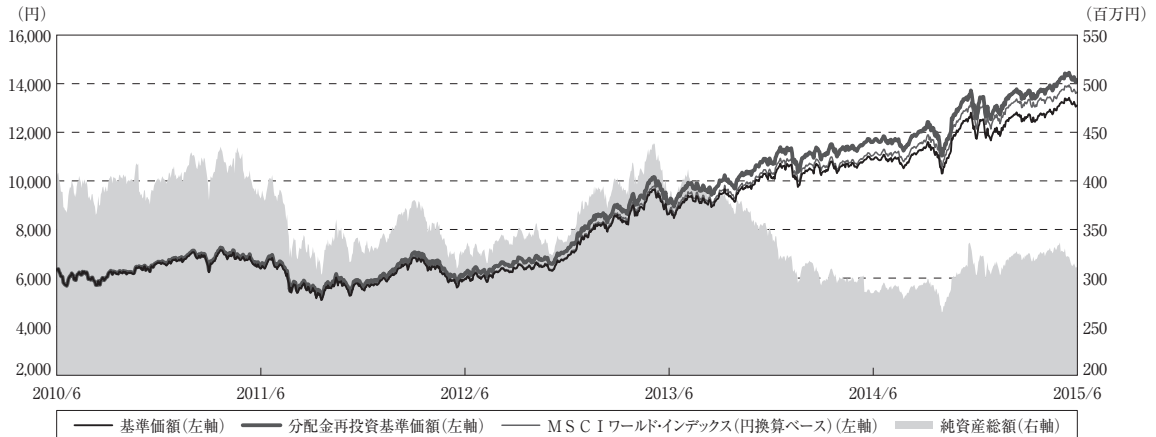
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2010年6月18日～2015年6月18日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）は、2010年6月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年6月18日 決算日	2011年6月20日 決算日	2012年6月18日 決算日	2013年6月18日 決算日	2014年6月18日 決算日	2015年6月18日 決算日
基準価額 (円)	6,339	6,386	5,970	8,677	10,886	13,106
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.6	△ 4.6	47.7	26.9	21.6
MSCIワールド・インデックス (円換算ベース) 騰落率 (%)	—	1.6	△ 6.7	46.2	26.1	23.1
純資産総額 (百万円)	404	381	329	384	284	311

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) ベンチマークはMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）です。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

投資環境

(2014年12月19日～2015年6月18日)

TOPIX (東証株価指数) (日本)	+17.5%	S&P500指数 (米国)	+ 2.9%
FT100指数 (イギリス)	+ 3.7%	DAX指数 (ドイツ)	+13.1%
CAC40指数 (フランス)	+13.0%		
米ドル/円 123円40銭 (前作成期末118円78銭)		ユーロ/円 140円36銭 (前作成期末146円48銭)	

※株価指数の騰落率は前作成期末比、米ドル/円およびユーロ/円は当作成期末の数値です。

＜株式市場＞

当作成期の世界の株式市場は上昇しました。作成期初である2014年12月中旬から2015年2月中旬までは、ギリシャの政局不安や原油価格の下落などが下落要因となる一方で、米国で発表された経済指標が良好な内容となったことや、欧州中央銀行（ECB）による金融緩和政策が株価を下支えし、株式市場は下落した後に切り返す展開となりました。その後は、米国の利上げ開始時期に対する思惑や、依然として不透明なギリシャ情勢を背景に株価が下落する局面があったものの、世界的にマクロ経済指標と企業業績が好調に推移したことで、株価はおおむね上昇基調で推移しました。原油価格が反発したことや、5月に入りユーロ圏のインフレ率がマイナス圏を脱したことなども、市場心理を下支えしました。当作成期を通じてみると、様々な悪材料があったものの経済環境の先行きに対する楽観的な見方は大きく崩れることはなく、株価は前作成期末の水準を上回って作成期末を迎えました。

＜為替市場＞

作成期初1米ドル118円台でスタートした米ドル/円レートは、2015年5月中旬までは118円台を中心に116円から120円前後を推移しました。2月に市場予想を上回る米国雇用統計を要因として米ドル高が進行した一方で、その後3月に入り早期利上げ観測が後退して米ドル安に戻るなど、米ドル高要因と米ドル安要因が交互に意識され、為替市場はどちらか一方に大きく傾くことはありませんでした。5月中旬以降は、米連邦準備理事会（FRB）が利上げの具体的な時期について言及したことで、市場では本格的にこの動きを織り込む動きが起きて米ドル高基調が強まり、おおむね123円の水準で作成期末を迎えました。

作成期初146円近辺だったユーロは、ギリシャの債務問題による不透明感の高まりやECBによる金融緩和を背景に2015年4月中旬までユーロ安が継続し、一時126円台となりました。その後は、ギリシャの債務問題が収束すると楽観的な見通しが広がったことなどから円安/ユーロ高が進み、作成期末には140円台となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2014年12月19日～2015年6月18日)

主として、インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を含む世界の先進国の株式に投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資にあたっては、為替ヘッジは行いませんでした。

マザーファンドでは、最適化されたポートフォリオを構築、管理し、適切にリバランスを実施することで、MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指しました。具体的には、ファンド内のキャッシュポジションを低位に保ちながら、保有する銘柄のコーポレートアクション（買収、増資、スピンオフなど）に対応した結果、ほぼベンチマークに連動したパフォーマンスとなりました。

2015年2月末、5月末にベンチマーク採用銘柄の入れ替え（Quarterly Index Review）が行われましたが、当ファンドでもベンチマークの銘柄異動を考慮しつつ必要に応じて売買を行い、ベンチマークへの連動性を維持する運用を行いました。

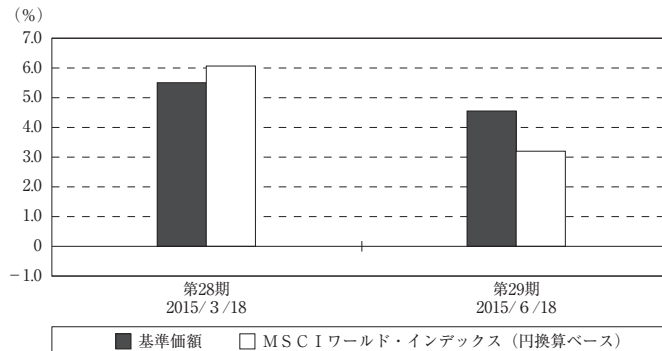
当ファンドのベンチマークとの差異

(2014年12月19日～2015年6月18日)

当作成期の分配金再投資基準価額騰落率は+10.3%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の騰落率+9.5%を上回る結果となりました。

一般的に、インデックス・ファンドのパフォーマンスがベンチマークから乖離する要因としては、配当金（プラス要因）、信託報酬（マイナス要因）、取引や管理にかかるコスト（マイナス要因）による要因の他、個別銘柄の組入比率がファンドとベンチマークで若干乖離していることによる要因や、ファンド内でキャッシュを保有していることによる要因などがありますが、当作成期間においてはおおむねベンチマーク並みのパフォーマンスとなっています。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

分配金

(2014年12月19日～2015年6月18日)

収益分配金につきましては、基準価額の水準および分配原資の水準などを勘案し、1万口当たり第28期30円、第29期30円とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第28期	第29期
	2014年12月19日 ～2015年3月18日	2015年3月19日 ～2015年6月18日
当期分配金	30	30
(対基準価額比率)	0.238%	0.228%
当期の収益	30	30
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	5,120	5,660

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主としてマザーファンドに投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を含む世界の先進国の株式に投資を行います。また、実質外貨建資産の投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行いません。

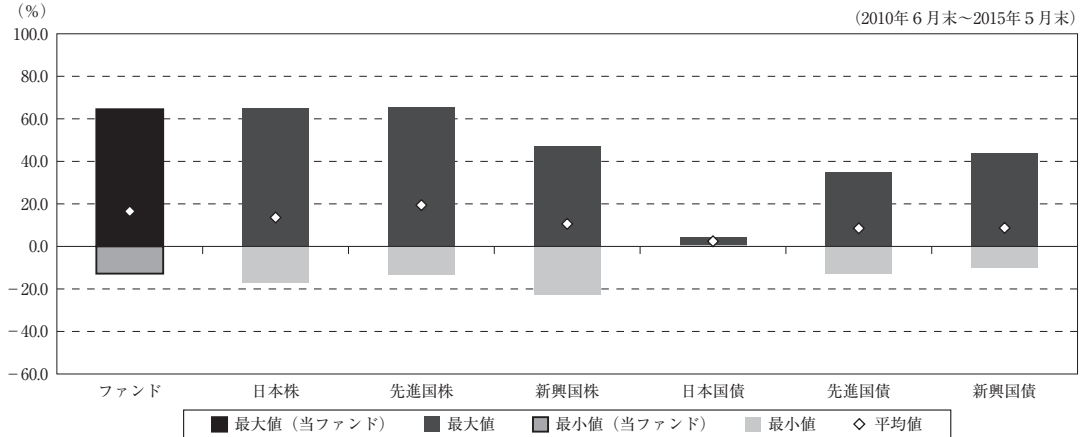
マザーファンドでは、最適化されたポートフォリオを構築、管理し、適切にリバランスを実施することで、MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、MSC I ワールド・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	先進国株式インデックス・ファンド	インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。ただし、直接株式に投資する場合があります。
	インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド	日本を含む世界各国の株式（預託証券およびカントリーファンドを含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界の先進国の株式に投資を行います。MSC I ワールド・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。	
分配方針	原則として年4回毎決算時（3・6・9・12月の各18日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額の水準および分配原資の水準等を考慮し、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は、分配を行わない場合もあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	16.5	13.6	19.4	10.6	2.4	8.5	8.7
最大値	64.5	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	-12.8	-17.0	-13.6	-22.8	0.4	-12.7	-10.1

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年6月から2015年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA - BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2015年6月18日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第29期末
インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

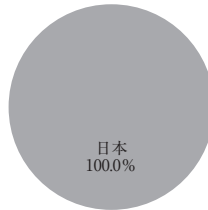
(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

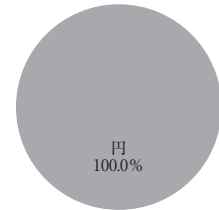
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

純資産等

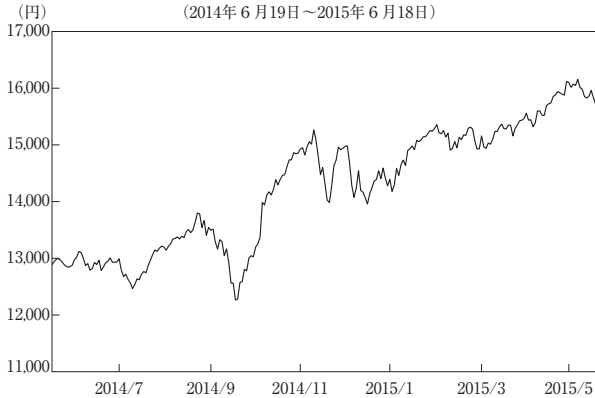
項目	第28期末	第29期末
	2015年3月18日	2015年6月18日
純資産総額	321,887,586円	311,245,366円
受益権総口数	256,205,921口	237,478,152口
1万口当たり基準価額	12,564円	13,106円

* 作成期間(第28期~第29期)中における追加設定元本額は10,683,713円、同解約元本額は31,579,482円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (株資信託証券) (先物・オプション)	10円 (10) (0) (0)	0.073% (0.068) (0.002) (0.003)
(b) 有価証券取引税 (株式) (株資信託証券)	2 (2) (0)	0.015 (0.014) (0.001)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	29 (29) (1)	0.204 (0.199) (0.005)
合計	41	0.292

期中の平均基準価額は、14,341円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

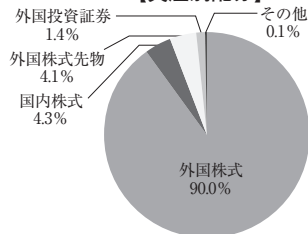
【組入上位10銘柄】

(2015年6月18日現在)

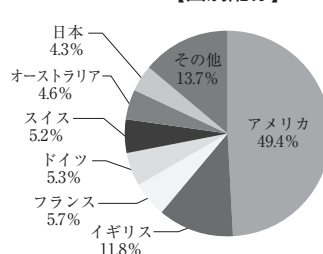
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 S&P500 EMINI	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	4.1%
2 APPLE	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	3.3
3 EXXON MOBIL	エネルギー	米ドル	アメリカ	1.9
4 MICROSOFT	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	1.6
5 WELLS FARGO	銀行	米ドル	アメリカ	1.2
6 JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	1.2
7 GENERAL ELECTRIC	資本財	米ドル	アメリカ	1.1
8 JPMORGAN CHASE & CO	銀行	米ドル	アメリカ	1.1
9 NESTLE-REG	食品・飲料・タバコ	スイスフラン	スイス	1.0
10 VERIZON COMMUNICATIONS	電気通信サービス	米ドル	アメリカ	1.0
組入銘柄数		600銘柄		

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

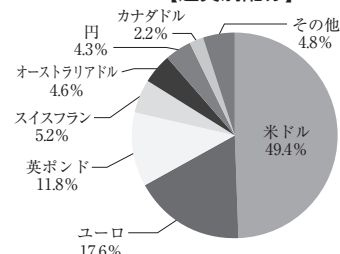
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。
 (注) その他には現金等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマークとしてMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国で構成されています。また、MSCIワールド・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.